

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2019年第32号(週報・月報合併号)

2019年第32週(8月5日~8月11日)、月報7月

◆◆注目すべき感染症の動向◆◆

—手足口病：和歌山市、湯浅、新宮保健所管内で警報レベル継続!—

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症で子どもを中心に、主に夏に流行する感染症です。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は2.08人(前週：3.47人)と減少しています。

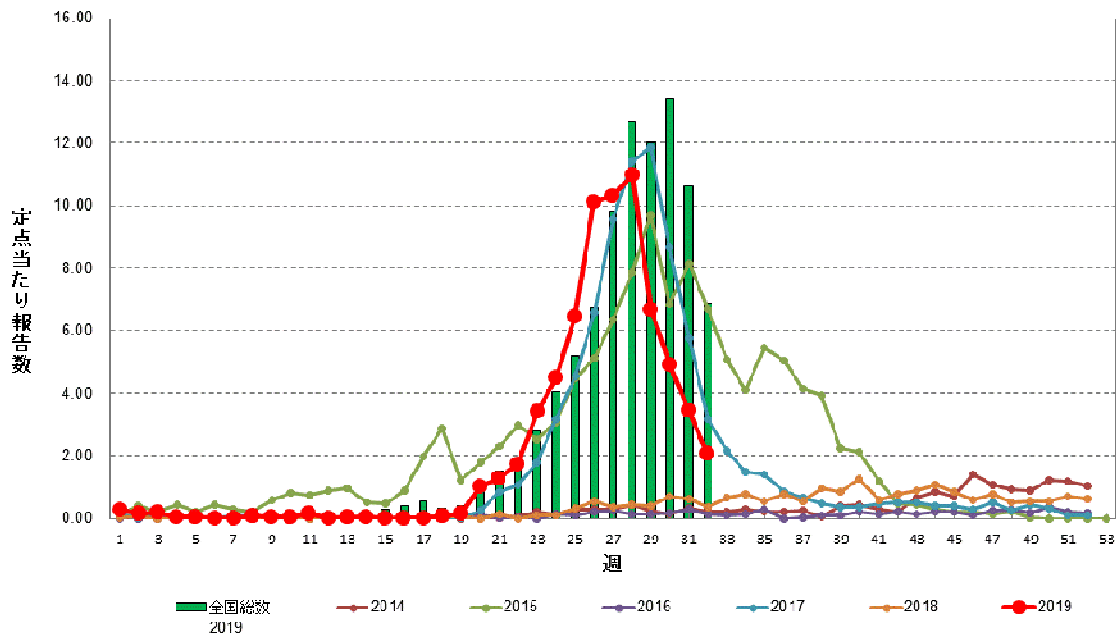
保健所別では、最も多いのが新宮保健所管内の7.00人(前週：10.00人)となっています。和歌山市、湯浅、新宮保健所管内は警報レベル終息基準値を下回っていないため、警報レベルが継続しています。

全国の定点あたり患者報告数は6.88人(前週：10.54人)と減少しています。

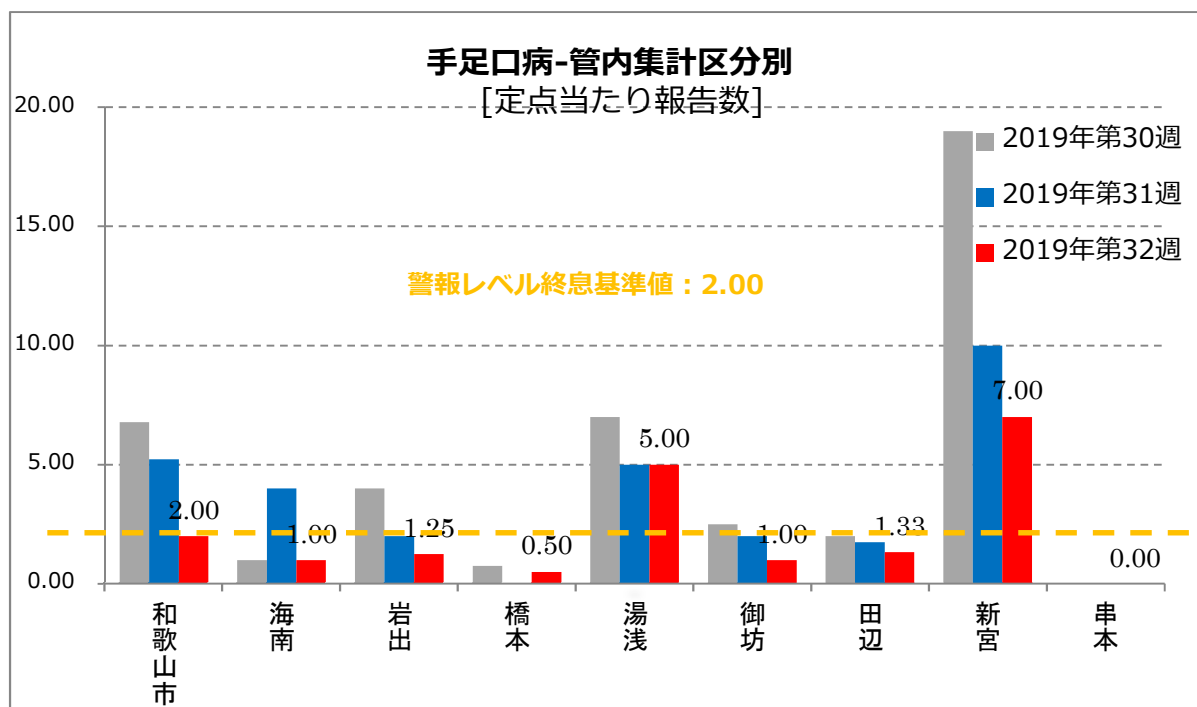
この疾病の感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染です。感染予防のために流水と石けんで十分に手洗いを行い、タオルの共用は避けてください。

手足口病に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>)



手足口病(和歌山県)



— 流行性角結膜炎：田辺保健所管内で警報レベル！ —

流行性角結膜炎は、主にアデノウイルスの感染によって起こる結膜炎で、目やにが多く出たり、まぶたの腫れ、白目の充血、涙目などの症状がみられます。発症は夏に多く、1～5歳の小児を中心に成人も含めて幅広い年齢でかかります。

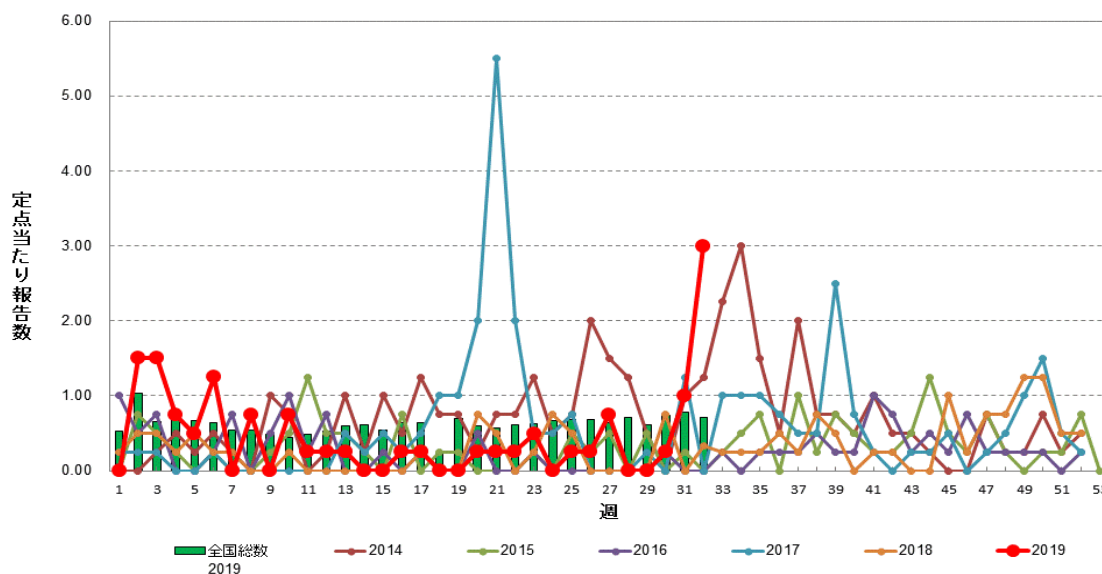
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、3.00人（前週：1.00人）と増加し、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況となっています。

保健所別では、田辺保健所管内で8.00人（前週：0.00人）と増加し、警報レベルとなっています。

全国の定点当たり患者報告数は0.71人（前週：0.78人）となっています。

主な感染経路は接触感染であり、感染力が非常に強いです。感染予防のために流水と石けんで十分に手洗いを行い、タオルの共用は避けてください。

流行性角結膜炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所 HP)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ra/ekc.html>



流行性角結膜炎(和歌山県)

－ヘルパンギーナ：湯浅保健所管内で警報レベル継続！－

ヘルパンギーナは、発熱と口腔内に水疱性発疹ができるウイルス感染症で、いわゆる夏かぜの代表的な疾患です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.08人（前週：1.27人）と減少しています。

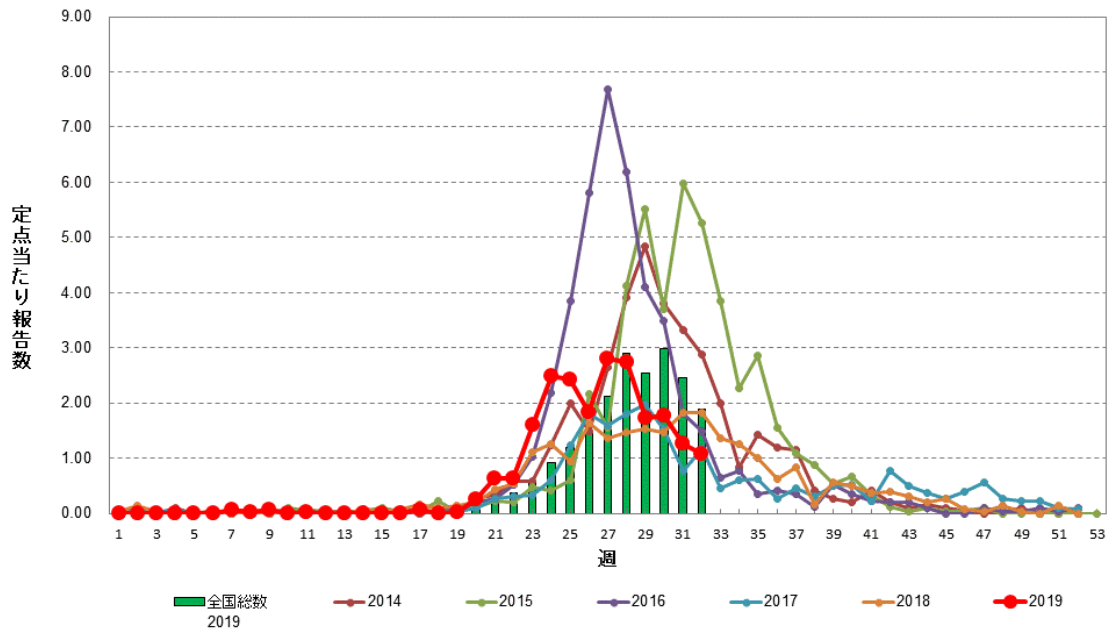
保健所別では湯浅保健所管内が6.00人（前週：3.00人）と増加し、警報レベルが継続しています。

全国の定点当たり患者報告数は1.88人（前週：2.45人）と減少しています。

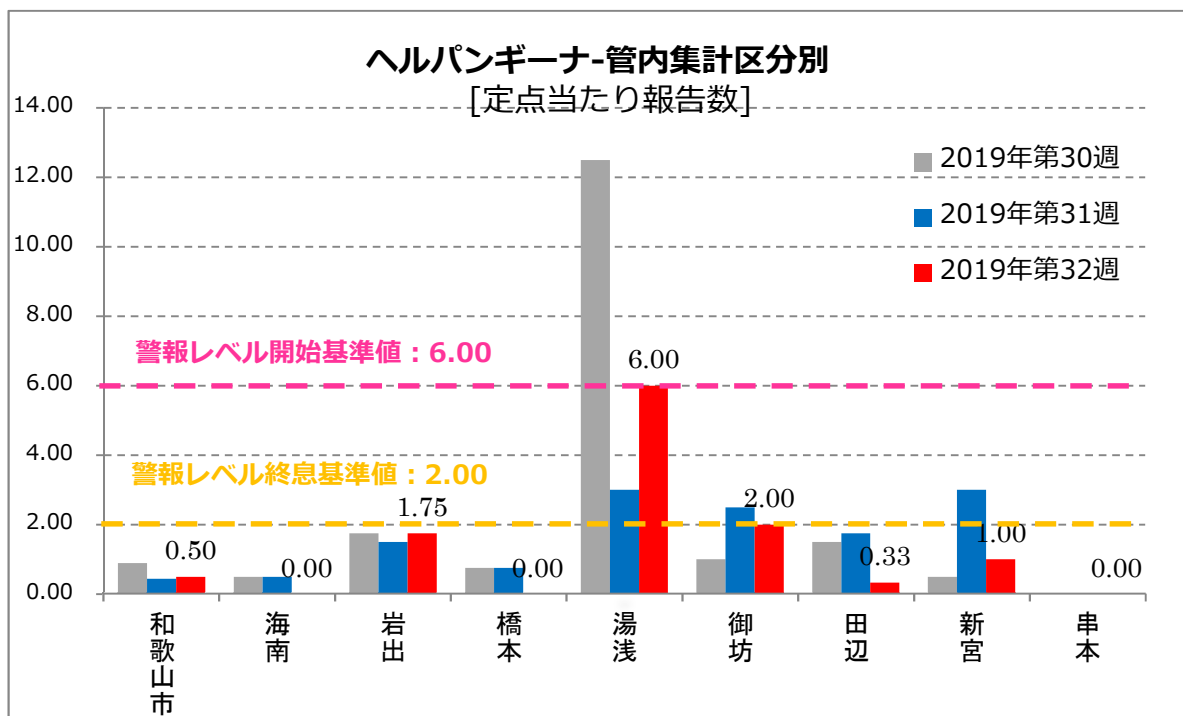
この疾患の感染経路は、糞口感染、飛沫感染また接触感染であるため、感染者との密接な接触を避けることやうがい・手洗いの励行が感染予防対策となります。

ヘルパンギーナの詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>



ヘルパンギーナ(和歌山県)



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 1 名
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 名
- 4 類感染症：日本紅斑熱 1 名
- 5 類感染症：百日咳 4 名

(2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	101
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	12
重症熱性血小板減少症候群	2
日本紅斑熱	11
レジオネラ症	9
アメーバ赤痢	3
ウイルス性肝炎	6
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13
急性脳炎	2
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9
後天性免疫不全症候群	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	5
侵襲性髄膜炎菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	11
水痘（入院例）	2
梅毒	10
播種性クリプトコックス症	1
百日咳	207
風しん	3
麻しん	9

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 手足口病（和歌山市、湯浅、新宮保健所管内）
- ヘルパンギーナ（湯浅保健所管内）
- 急性出血性結膜炎（田辺保健所管内）
- 流行性角結膜炎（田辺保健所管内）

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	18	2	3	9	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.69	0.08	0.12	0.35	0.04	0.08	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	14	-	-	-	1	1	4	4	3	-	-	1	-	-	-
	定当	0.54	-	-	-	0.04	0.04	0.15	0.15	0.12	-	-	0.04	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	21	-	-	-	1	3	7	4	1	1	1	3	-	-	-
	定当	0.81	-	-	-	0.04	0.12	0.27	0.15	0.04	0.04	0.04	0.12	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	84	1	5	14	11	12	12	6	5	4	4	2	7	1	-
	定当	3.23	0.04	0.19	0.54	0.42	0.46	0.46	0.23	0.19	0.15	0.15	0.08	0.27	0.04	-
水痘	報告	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
	定当	0.15	-	-	-	-	-	0.04	-	0.04	-	-	-	0.08	-	-
手足口病	報告	54	1	10	15	10	8	3	1	2	1	2	-	1	-	-
	定当	2.08	0.04	0.38	0.58	0.38	0.31	0.12	0.04	0.08	0.04	0.08	-	0.04	-	-
伝染性紅斑	報告	11	-	1	-	-	2	1	1	1	2	-	2	1	-	-
	定当	0.42	-	0.04	-	-	0.08	0.04	0.04	0.04	0.08	-	0.08	0.04	-	-
突発性発しん	報告	12	-	3	7	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.46	-	0.12	0.27	0.04	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	28	-	3	8	4	4	2	5	1	1	-	-	-	-	-
	定当	1.08	-	0.12	0.31	0.15	0.15	0.08	0.19	0.04	0.04	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	5	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	1	-	-	-
	定当	0.19	-	-	-	-	-	0.12	0.04	-	-	-	0.04	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	4	4	6	3	-	-	1	-	…
	定当	0.5	2	1.5	0.75	-	-	0.33	-	…
咽頭結膜熱	報告	13	-	-	1	-	-	-	-	…
	定当	1.63	-	-	0.25	-	-	-	-	…
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	4	-	6	2	2	1	1	5	…
	定当	0.5	-	1.5	0.5	1	1	0.33	2.5	…
感染性胃腸炎	報告	54	11	9	-	-	5	1	4	…
	定当	6.75	5.5	2.25	-	-	5	0.33	2	…
水痘	報告	1	-	1	-	-	-	1	1	…
	定当	0.13	-	0.25	-	-	-	0.33	0.5	…
手足口病	報告	16	2	5	2	10	1	4	14	…
	定当	2	1	1.25	0.5	5	1	1.33	7	…
伝染性紅斑	報告	6	2	2	-	-	-	-	1	…
	定当	0.75	1	0.5	-	-	-	-	0.5	…
突発性発しん	報告	1	-	2	2	2	-	2	3	…
	定当	0.13	-	0.5	0.5	1	-	0.67	1.5	…
ヘルパンギーナ	報告	4	-	7	-	12	2	1	2	…
	定当	0.5	-	1.75	-	6	2	0.33	1	…
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	-	2	-	-	2	…
	定当	0.13	-	-	-	1	-	-	1	…
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
流行性角結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	8	…	…
	定当	0.5	…	…	…	…	…	8	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

7月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が1.82人(先月：1.73人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の55%となっています。

【7月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	1	3	11
	定当	1.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.09	0.27	0.09	0.27	1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症報告 (WIDR) 2019年第32号

発行日：令和元年8月15日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/idsw/d00153659.html>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。